

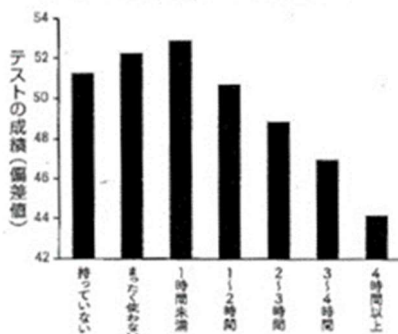
「スマホ依存が脳を傷つける ～デジタルドラッグの罠～」

校長 高瀬 城作

昨今の技術の進歩には目をみはるものがあります。私が子どもだったころ、「未来の生活」と銘打たれて様々な未来予想図が公開されていましたが、このところ、それが目の前に次々と現実化してきています。なかでも、ICT関連はそれこそ「爆速」で進化しており、もはや日々の生活に、ネットやスマホががっちり組み込まれているようにさえ思えます。しかし、一方では、子どもたちの健やかな発達から現状に激しく警鐘をならす報告ももたらされています。

さて、今回のセンセーショナルな表題ですが、これは、脳科学者である東北大学川島隆太教授の最新刊タイトルです。ご存じの通り、小野市では川島教授をアドバイザーに招き、脳科学理論に基づいた教育を実践しています。その中で以前から指摘されていたことですが、下のグラフを見ても分かる通り、スマホの使用時間と成績には明らかに相関関係が見られます。つまり、スマホ使用時間が長ければ長いほど成績が芳しくない、または、SNSをよく使う子ほど学習効果が上がらないということです。また、別のデータによれば、長時間学習しても、スマホ使用によってその学習効果が打ち消されることも示されています。

スマホ等の使用時間とテストの成績



東北大学加齢脳科学研究所と仙台市教育委員会が共同で実施した調査より

今回の書籍では、そのような現象が起こるメカニズムも解説されています。『自分の意思とは関係なく、見ている場面がコロコロ変わり、何か一つに集中しようとしても、情報の割り込みが入り、注意が別のものになってしまう。このような行為をくり返し、一つのことに集中する時間が極端に短くなる状態』を『スイッチング』と呼ぶそうです。どうやらこれが諸悪の根源のようです。

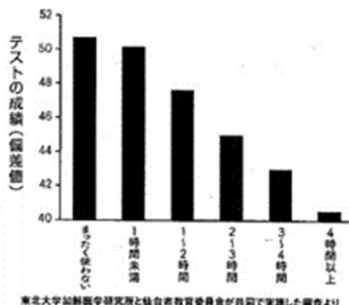
まさに、動画を見ているときや「ながら SNS」のときの私たちの状態そのものといえますね。

IT業界の巨人である、ジョブズやビル・ゲイツをはじめとするシリコンバレーの成功者たちは、我が子を育てる際において、デジタル環境を本当に厳しく制限したそうです。ネット提供者側は、我が子をネットから遠ざける。これは、何を意味しているのでしょうか。

「使わなければ退化する」これは生物学の常識ですが、SNS 漬けで脳をしっかりと働かせることのできなくなった我々の行く末はと考えると…映画「マトリックス」の世界観が現実味を帯びてきて、薄ら寒い心地になりました。

幸い、傷ついた脳を回復する手段も提示されています。そう、お察しの通り、「スマホ SNS から距離を置く」です。確かに「デジタル絶ち」は至難の業です。だからこそ、家族みんなの一致団結が不可欠です。この機会に、我が家でもスマホ SNS 漬けの実態を見つめ直し、改善に取り組んでみようと思います。ご家庭でも、ぜひご一考ください。我と我が子の健全な脳のために。

インスタントメッセージの使用時間とテストの成績



東北大学加齢脳科学研究所と仙台市教育委員会が共同で実施した調査より

～授業づくり～

河合小中学校では、中学校と小学校の教員で合同のグループを作り、学校教育目標である「他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」を目指して授業研究を行います。校種の異なる教員同士で意見を交流し、教科の異なる教員同士で授業研究を進めることで、新たな視点があたり、新たな発見があったりするので、とても有意義なものに感じています。

授業研究では、単元に各教師の思いを乗せて、知識をただ単に教えるのではなく、子どもたちがその単元で何をどのようにして学ぶのか、それによってどのように変容するのかを一人一人の教師が考え、悩みながら見出す過程を大切にしています。

先日行った小中合同会議の内容をもとに、早速各グループで授業研究がスタートしています。子どもたちの学びを中心に据えた授業研究を通して、教師も児童生徒も成長できるような河合小中学校の授業づくりがこれからも深まっていくように尽力していきます。

～文化づくり～

「スタートライン～河合っ子346人のきずなの始まり～」のスローガンのもと、第9回かわい小中合同体育祭を5月20日土曜日に行いました。多数の方のご参観ありがとうございました。

今年度の体育祭では、スローガンにもあるようにきずなを大切に、1～9年生の関わりが増えるような活動を取り入れてきました。新たな取り組みとしてテントを縦割り班ごとにししたり、綱引きを従来の形から5色綱引きに変更したりしたことで、競技の中だけでなく、様々な場面に関わりが深めることができました。

また、練習の合間の休憩や体育祭本番終了後の時間にも、1～9年生が学年に関係なく話をしたり遊んだりして関わる姿がとても印象的でした。加えて、中学校校舎では、6年生はスローガン作り、7・8年生はエールリーダー、9年生は応援合戦とそれぞれの学年が役割を持ち、全員で取り組むということ意識して、計画を立てて責任を持って行動していました。

こうした関わりや役割意識が体育祭という1つの行事で終わってしまうことがないように、今後の行事や学校生活につながっていくことを大切にしていきたいと思います。



6年生制作
体育祭スローガン

～地域～

体育祭前(5月13日)の第1回草刈り隊には、多くの方が参加してくださいました。昨年度に引き続き河合のまちづくり協議会の方、そして地域の方にも参加していただきました。おかげさまで、とても気持ちよく体育祭を行うことができました。ありがとうございました。改めて、河合小中学校は保護者・地域に支えられていることを実感するとともに、地域の学校として、さらに信頼される学校づくりを目指していかなければと思いました。



～人権～

今回の体育祭では、学年を超えたつながりを持つことができたり、絆を深めたりすることができた場面が多く見られました。

7・8年生のエールリーダーが1～9年生の全校生で行うエール練習の時、9年生が率先して小学生のサポートをする姿に感動していました。そして、その感謝の気持ちを、応援合戦や他の競技をがんばることで示したいという思いが強くなったそうです。

本番では、仲良しペアや同じ班の小学生と中学生とが、お互いが出場する競技を応援し合う姿や、他学年のダンス演技を見ながらテントで一緒に踊っている姿、競技を終えてテントに戻ってきた仲間にねぎらいの言葉をかける姿がたくさん見られました。「テントに戻るとおかえりと言ってもらってうれしかった」、「ダンスが上手だったよとほめてもらった」、という中学生の感想も聞かれました。仲良しペアからのメッセージをうれしそうに読む姿もありました。体育祭での子どもたちの心の成長は大変大きなものとなりました。

海津 SC 勤務日 6月 5日、 12日、 19日、 26日

高齊 SSW 勤務日 6月 1日、 8日、 22日、 29日

よろしくお願いいたします。



【6月の主な行事予定】

2日(金) サイバー教室

9日(金) オープンスクール

スポ少&部活動行進・壮行会

16日(金) 市内総合体育大会(~17)

20日(火) ハートフル弁当デー

23日(金) 確認テスト(9年)、進路説明会(9年)

24日(土) 草刈り隊

30日(金) テスト前部活動停止 (~7/4)